平成 27 年度

消防ポンプ自動車　仕様書

（北消防署）

横須賀市消防局

第１　総　　則

この仕様書は、横須賀市(以下「本市」という。)が購入し、横須賀市北消防署に配置する消防ポンプ自動車(以下「本車両」という。)について必要な事項を定める。なお、疑義が生じた場合は本市と協議をし、十分熟知のうえ契約するものとする。また、契約後に生じた疑義は、すべて本市の解釈に従うものとする。

第２　規　　格

本車両は、本仕様書に定めるところによるほか、緊急消防援助隊設備整備費補助金交付要綱(平成18年４月１日消防消第49号)、道路運送車両法、道路運送車両の保安基準及びその他の関係法令の規格に適合し、かつ緊急自動車として承認が得られるものであること。

なお、車両の製作は日本消防検定協会・安全基準検討委員会が定める「消防用車両の安全基準について」の項目を満足すること。

第３　契約・仕様打合せ

受注者は、契約締結後１か月以内に仕様内容等について本市と打合せを行い、打合せ終了後１週間以内にその打合せ内容の確認書を提出すること。

第４　提出書類

１　受注者は、契約後５日以内に次に掲げる書類を本市へ提出すること。

（１）　契約内訳書

（２）　製作工程(予定)表

２　受注者は、上記確認書の提出後２か月以内に次に掲げる承認図書を提出し、承認を得てから製作に着手すること。

製本(A4版ファイル、目次・インデックス付)　　２部

電子媒体(一つの電子媒体に記録)　　１部

（１）　製作工程表

（２）　承認図

（３）　特殊装備部分の電気配線図

（４）　消費電力一覧表

（５）　その他本市が必要と認めたもの

３　受注者は、納入検査日の３日前までに次に掲げる完成図書を作成し、本市へ提出すること。

製本(A4版ファイル、目次・インデックス付)　　２部

電子媒体（一つの電子媒体に記録)　　１部

（１）　本車両仕様書

（2）　外観５面カラー写真
（3）　完成図
（4）　消防ポンプ性能試験結果表
（5）　日本消防ポンプ協会が発行した受託評価プレートの写し
（6）　改造概要等説明書
（7）　車輌重量実測証明書
（8）　車検証の写し
（9）　リサイクル券の写し
(10)　車庫証明の写し
(11)　自動車損害賠償責任保険証明書の写し
(12)　排出ガス・燃費基準等ステッカーの写し
(13)　自動車台帳(本市が指定する様式)
(14)　ポンプ取扱説明書
(15)　車両取扱説明書(※製本のみ)
(16)　車両及び積載資器材の保証書
(17)　パーツリスト
(18)　シャシカタログ
(19)　サイレンアンプ音声合成パターン一覧表
(20)　その他本市が指示するもの

第５　検査、受領及び保証

１　検査申請

中間及び納入検査の申請は、検査日の２週間前までに検査日及び検査場所を明記した書面で本市に申請すること。

２　中間検査

ぎ装途中に実施するものとし、検査時期については別途指示する。

３　納入検査

本市検査員及び納入者が立会いのうえ実施する。

４　受　　領

納入検査の実施後、本市が合格と認めた場合に受領するものとする。

５　保　　証

保証期間については納入後１年以上とし、保証書を提出すること。また、設計・製作・塗装・材質・部品等の不良により起因する不都合の発生については、保証期間後であっても受注者において無償により是正修復すること。なお、特許その他利権上問題が発生した場合には、その責任を負うこと。

6　技術指導

納入者は、本市が別に指示するとおり、本車両及びぎ装の装備品の取扱いについて、技術指導を行うこと。

第６　納　　入

1　納入場所

横須賀市北消防署（横須賀市船越町１－59）

2　納入期限

平成 28 年２月 29 日(月)

第７　登録手続き等

車両の新規登録及び抹消登録に関する一切の経費については受注者が負担する。ただし、本車両にかかる自動車重量税、自動車損害賠償責任保険料及び自動車リサイクル法にかかわる経費は、本市が負担するため別途請求すること。

第８　引取り・解体処分

受注者は下記のとおり、車両及び別表１～３に記載する車両の取り付け品と同等のものを引取り・解体処分すること。

1　解体処分方法

（1）　車両関係

ア　緊急自動車として再利用、再登録できない状態にすること。

イ　全ての赤色警光灯類(サイレンアンプも含む)を取り外し、再利用ができない状態にすること。

ウ　記入文字の全てを完全に消すこと。(色付スプレー等で塗装処理は不可)

エ　その他、本市が指示する必要事項。

オ　上記ア～エの作業実施後、４面カラー写真及び神奈川運輸支局長が発行する解体が行われたことの証明書(登録事項等証明書等)を提出すること。

（2）　装備品関係

ア　転売及び再利用ができないよう、適正に処分すること。

イ　その他、本市が指示する必要事項。

2　引渡し予定車両

引渡し予定車両の概要は下記のとおりとし、車検証の写しが必要な場合は担当者まで連絡すること。

なお、他車両の状況等により引渡し予定車両が変更になる場合は、速やかに受注者へ通知する。

（1）　車体の形状　　消防車(398 号)
（2）　車　　　名　　日野
（3）　型　　　式　　KK-XZU331M
（4）　初年度登録　　平成 14 年３月
（5）　車検有効期間　　平成 28 年３月 25 日
（6）　車 両 重 量　　4,120 kg
（7）　車両総重量　　4,450 kg
（8）　定　　　員　　６人

第９　車　　両

本市が購入する本車両の主要諸元は、次のとおりとする。

1　購入台数

１台

2　車両タイプ

キャブオーバー型、ダブルシート、消防専用シャシ、ホイールベース 2,800 ㎜以下、旧普通免許(AT 限定)で運転可能、車両安定制御システム(VSC)装備

3　エンジン

（1）　最高出力及び検定出力

110ｋW（150PS)以上（最新の排ガス規制に対応したもの）

（2）　排気量

4,000cc 以上

4　駆動方式

二輪駆動

5　変速装置

オートマチック方式

6　車両寸法

（1）　全長　5,650 ㎜以下
（2）　全幅　1,900 ㎜以下

7　使用燃料

軽油

８　定　　員

　５名以上

９　装 備 品

　別表１のとおり

10　ぎ装及び取り付け品、取付装置

　別表２のとおり

11　積載品・付属品

　別表３のとおり

第 10　車体の構造

１　本車両は、常時登録された車両総重量の状態において、十分耐え得るものであること。

２　本車両は、堅牢にして長期の使用に十分耐え得るものであり、強度を損なうことなく軽量化を図るとともに、使用取扱い上の安全性及び操作性・点検・修理の維持管理を十分考慮したものとすること。

３　使用する材料は、全て新規製品、日本工業規格及び国の補助対象規格(「国が行う補助の対象となる緊急消防援助隊の施設の基準額(平成 16 年３月 30 日総務省告示第 281 号)」並びに「緊急消防援助隊設備整備費補助金交付要綱(平成 18 年４月１日消防消第 49 号)」)に基づいて精選された耐久性に富むものを使用すること。

第 11　ぎ 装 等

１　車両関係

（1）　車室は堅ろうな天蓋及びドアを有すること。

（2）　乗車定員はキャブ内に５名以上とし、安全に乗車できる座席を設けてあること。

（3）　乗車人員の乗降時及び走行時における安全確保のため、握り棒、手摺り、ステップ、シートベルト等を設けること。詳細は別途協議とする。

（4）　オイルパンヒーター(コードの長さは 10m以上、ワンタッチ式)を取り付け、カットスイッチを運転席付近に設けること。

（5）　ボデー天井部はアルミ縞板張りとすること。

（6）　リヤフェンダーはアルミ縞板を設けること。なお、シカル加工を施し全面アルミ縞板張りとすること。

（7）　車両上部に上がるため、両側面及び後面左右に足掛け折りたたみ式ステップまたは、展開

式はしごを設けること。設置位置の詳細は別途協議とする。
（８） キャブ・ボデー分離型のサイドステップを左右側面に取り付け、安全走行を図るため、ディパーチャーアングルを可能な限り大きく確保すること。詳細は別途協議とする。
（９） ポンプ室上部に資機材等を収納できる収納庫をできるだけ大きく設けること。
ア 車幅に合わせて可能な限り張り出して設けること。なお、張り出し部分については、重量物の出し入れを考慮し、十分な強度を持たせること。
イ 収納庫左右に、開閉時にたわみが生じないよう剛性をもたせたダンパー式の上開き扉(ロック機能及び開閉補助紐付き)を設け、経年使用中の扉調整が可能な構造とすること。
ウ 収納庫上部に開閉時にたわみが生じないよう剛性をもたせた上開き扉(蝶番式)を設けること。
エ 収納庫床面にポンプ室を容易に修理及び点検できるポンプ室点検口を設けること。
オ 収納庫床面には必要に応じて排水用の水抜き穴を適宜設けること。
カ 収納庫の床面には、取り外しが可能なスノコ板(プラスチック製)を開口部との段差がなるべく生じないように設けること。
キ 各扉の合わせ目は雨水等が侵入しないように戸当たりゴム等による水密構造とすること。
ク 積載資器材の飛び出し防止措置を講じること。
(10) ポンプ室左右のサイドステップに資機材等を収納できる収納庫を可能な限り大きく設けること。
ア 開閉時にたわみ等が生じないよう剛性をもたせた下開き扉(ロック機能付)を設けること。また、扉についてはチェーン付ステップ兼用扉とすること。
イ 収納庫床面に排水用の水抜き穴を設けること。なお、水抜き穴の位置については別途協議とする。
ウ 収納庫の床面には、取り外しが可能なスノコ板(プラスチック製)を開口部との段差が可能な限り生じないように設けること。
エ 各扉の合わせ目は雨水等が侵入しないように戸当たりゴム等による水密構造とすること。
(11) 車両両側後部の上側には資機材等が収納できる収納庫を設けること。
ア 開閉時にたわみ等が生じないよう剛性をもたせたダンパー式の上開き扉(ロック機能付及び開閉補助紐付)を設け、経年使用中における扉調整が可能な構造とすること。
イ 収納庫の床面に排水用の水抜き穴を設けること。水抜き穴の位置は別途協議とする。
ウ 収納庫の床面には、取り外しが可能なスノコ板(プラスチック製)を開口部との段差が可能な限り生じないように設けること。
(12) ポンプ室後部に資機材等を収納できる収納庫を設け、扉は上下へ開放するシャッター式とし、巻取り部にシャッター損傷防止策を講じること。また、必要に応じてホースを収納した加納式ホースカー等を出し入れする際に利用でき、かつ容易に開閉操作が可能なステップ兼用扉または、展開式ステップを設けること。詳細は別途指示する。
ア 収納庫手前側
① 加納式ホースカー１台及びをキャリーバック(W50-65)３基以上積載し、容易に取り出せる構造とすること。詳細は別途協議する。
② 防火着等を掛けるフックを５箇所以上設けること。

イ　収納庫奥側

①　資器材を積載できる棚(可動式含む)を２枚以上設けること。大きさは別途協議とする。

②　棚は、資機材落下防止のため、立上げ構造もしくはローラーストッパーを設けること。詳細は別途指示する。

③　資器材固定用ベルトを必要数設けること。積載する資器材は別途指示する。

④　収納庫の床面には、取り外しが可能なスノコ板(プラスチック製)を必要枚数設けること。

⑤　床面には必要に応じて排水用の水抜き穴を設けること。

ウ　車両右側

背負い式ホースカーを１台積載し、安全確実に積載・固定できる構造とすること。

(13)　車両天井部に、手動シーソー式はしご昇降装置を設けチタン製三連はしご及びチタン製かぎ付梯子、とび口２本を安全確実に積載・固定できる構造とすること。

(14)　ポンプ室上部の支障のない位置にアルミ製収納庫を設け、内部には資機材固定用金具等を取り付けること。設置場所及び寸法等については別途協議する。

(15)　車両天井部の形状に応じ、可能な限りポンプ室の点検を容易にする措置を講じること。

(16)　各収納庫及びポンプ室内の有効な位置に庫内灯(各収納庫は LED タイプ・各扉と連動)を設け、スイッチを前席付近に設けること。

(17)　本市が保有する空気呼吸器用ボンベ４本以上を収納できる場所を設けること。

(18)　シート表皮は防水性を考慮し、標準シート生地の上にビニールレザー張りとすること。詳細は別途調整とする。

(19)　テールランプ及びナンバープレートには、必要に応じて足掛け兼用保護枠を取り付け、剛性をもたせること。詳細は別途協議する。

(20)　次に掲げる装備品等を安全確実に積載し、かつ容易に取り外しができる堅固な取付金具を取り付けること。なお、取付位置の詳細は別途協議とする。

ア　車　体

①　吸管(ワンタッチ式)

②　消火栓開閉金具

③　吸管スパナ

④　管そう

⑤　ノズル受け

⑥　とび口

⑦　金てこ

⑧　剣先スコップ

⑨　車輪止め

⑩　消火器

⑪　ホースブリッジ

⑫　スタンドパイプ

⑬　泡消火薬剤

⑭　ホースカー(加納式、背負い式)

⑮　鉄線カッター

⑯　空気呼吸器用予備ボンベ

⑰　その他本市が指示するもの

イ　ホースカー（加納式ホースカー）

①　特殊ノズル(媒介付)２箇所

②　分岐管・媒介類

③　ホースカー収納箱内にホースが４～５本収納できるホースバックを２個取り付け、延長及び搬送できる構造とすること。

④　その他、本市が指示するもの

(21)　取り付け品等の要因でボデーに損傷を与えると考察される箇所には、損傷を防止する板(アルミ製)を設けること。設置位置は別途協議とする。

２　水ポンプ装置

（１）　動力消防ポンプの技術上の規格を定める省令(昭和 61 年自治省令第 24 号）に定めるＡ-２級ポンプとする。

（２）　ポンプはアルミ製とし、強度、耐食性を考慮し、インペラはアルミ鋳物又は青銅鋳物製とすること。材質が違う場合は、十分に耐食処理を行うこと。

（３）　グランド部及び軸先端部はグリスレスのメカニカルシールとすること。構造が違う場合には耐久性に優れ、グリス等容易に交換できる様にすること。

（４）　動力消防ポンプの駆動は、シャシエンジンの PTO(パワーテイクオフ)で駆動され、PTO 操作は運転席に設けたスイッチで行うものとする。

（５）　ボールコック付き 75 ㎜の吸水口をポンプ室両側に各１個設け、その先端に 75㎜ の吸水口エルボを取り付けること。さらに、75㎜×10ｍの吸管を常時接続し、連続呼水装置付とすること。

（６）　ボールコック付 65 ㎜の放水口をポンプ室両側に各２個設け、その先端に放水口媒介金具を取り付けること。

（７）　ボールコック付 65 ㎜の中継口をポンプ室両側に各１個設け、その先端に中継口用媒介金具を取り付けること。

（８）　各ボールコック部分は、容易に点検できる構造とすること。

３　真空ポンプ装置

（１）　真空ポンプは、ピストン式又は無給油式の４～６翼偏芯ローターリーポンプ（排気量 1.2L 以上）式とすること。又は同等可とする。

（２）　真空ポンプの作動は電磁クラッチ方式(揚水完了後、自動的に離脱)とし、左右側板に設けたスイッチにより作動すること。また、非常用の真空ポンプ作動スイッチを右側板に設けること。

4　ポンプ操作

（1）　ポンプ操作装置の取付位置は、操作員が容易にかつ安全にポンプ操作が行えるよう、車体両側面のポンプ室両側に設けること。なお、ポンプ室上部の収納庫は、張り出し型のため多目的液晶ディスプレイの視認性を考慮し、自動調光機能等を設けること。

（2）　ポンプ室左右にポンプ圧力計・ポンプ連成計、調速ハンドル(エンコーダ式)及び多機能液晶ディスプレイを設けること。

（3）　本液晶ディスプレイには、下記の表示内容及び機能を有すること。

ア　主ポンプ作動状況表示及び主ポンプ揚水表示

イ　真空ポンプ作動表示及び真空異常表示(警報ブザー付)

ウ　冷却水異常表示(警報ブザー付)

エ　ボールコック開閉確認表示

オ　取り扱い説明及びトラブルシューティング表示

カ　ポンプ圧力計及びポンプ連成計

キ　ポンプ回転計

ク　流量計

ケ　積算流量計

コ　ポンプアワーメーター

サ　自動運転機能(自動調圧機能、キャビテーション回避機能付)

シ　ハンドルロック機能(設定中においても、下限方向には操作可能。また、PTO がつながっていない時は、スロットルハンドルを操作してもエンジン回転操作ができない。)

（4）　ポンプ操作装置には緊急時における非常停止スイッチを設け、作動後はポンプ回転が自動的にアイドリング状態まで降下すること。

（5）　本液晶ディスプレイには故障時等においても操作ができる様に、非常用調速ハンドルを設けるものとし、ポンプ室右側にて操作がおこなえること。なお、モニター一体式でない場合はこの限りでない。

5　水槽関係

（1）　車体に、水槽(900ℓ 以上 1,000ℓ 未満)を設けること。

（2）　水槽は、振動・衝撃などにより損傷・緩み等を生じないよう車台に固定し、水圧に対して変形及び水漏れのない構造とし、水槽内面は防食加工を施すこと。

（3）　水槽内部には有効な防波板を設けること。

（4）　水槽内部は清掃、塗り替え等に便利な構造であること。

（5）　水槽にはオーバーフローパイプ、補給口及び排水口を設けること。

（6）　水槽には積水口、水量計(目盛り付)を左右各1個設けること。

（7）　水槽はポンプからの自己補給及びポンプへの送水が可能とし、ポンプからの吸水口(吸水コック付) 及びポンプへの送水(送水コック付)を設け、配管には緩衝措置を施すこと。

（8）　車両上部の補給口(マンホール)は、はしご積載装置の作動に支障がないよう考慮すること。

６　取り付け品及び付属品

（１）　車両前部に消防章を取り付けること。

（２）　助手席側の車外に補助ミラーを設けること。

（３）　二段手摺りをボデー天井部の両側に取り付けること。

（４）　手摺り兼用の旗立てパイプ(口径約 25 ㎜)を車体左側(C ピラー)に取り付けること。

（５）　ルーフ前方中央部に赤色警光灯(標識灯、スピーカー及びモーターサイレンが一体化されているもの)を取り付けること。

（６）　赤色点滅灯を車両前後部及び両側部に各２個取り付けること。

（７）　周囲灯を車両両側面に各１式取り付けること。

（８）　照明灯(落下防止チェーン付)をポンプ室前部に取り付けること。詳細は別途協議する。

（９）　作業灯(落下防止チェーン付)をポンプ室後部に取り付けること。詳細は別途協議する。

(10)　路肩灯を左右後輪付近に取り付け、車両のスモールランプと連動させ、点灯・消灯させること。

(11)　標識灯は車両のスモールランプと連動させ、点灯・消灯させること。

(12)　ルームミラー型車載用後方確認装置を取り付けること。

(13)　ドライブレコーダーを取り付けること。

(14)　助手席及び後部座席(左右)にマップランプ(LED・照射角度調整・ON/OFF スイッチ付) を取り付けること。

(15)　前後席間の上部に資器材を積載する棚を取り付け、落下防止用の立上げを施しゴムネット及びゴムネット掛け用パイプを取り付けること。

(16)　スモールランプ等に連動することなく ON/OFF スイッチのみで解除できる後退警報器(ブザー音)を取り付け、運転席付近にスイッチを設けること。

(17)　音声合成機能付きで警鐘の擬似音を発することができ、かつ拡声装置としても使用できる電子サイレンアンプ(専用マイク付)を設置すること。なお、専用マイクには抜け止め防止措置を施すこと。取付位置等は別途協議とする。

(18)　電子サイレンアンプで使用するマイクを、後部座席の乗降車及び走行時において支障のない位置に増設すること。なお、必要に応じてマイクに抜け止め防止措置を施すこと。

(19)　赤色警光灯及び赤色点滅灯スイッチは電子サイレンアンプに組み込むこと。

(20)　集中操作スイッチを取り付けること。なお、集中操作スイッチで操作できる種類については別途協議とする。

(21)　モーターサイレンスイッチを運転席付近及び集中操作スイッチに組み込むこと。

(22)　前席中央部に携帯無線及び書類等を収納するボックスを設置すること。なお、ボックスを取り外すことなくエンジンルームが点検できる構造とし、大きさは別途協議とする。

(23)　後部座席前面の手摺りを上下２段で設け、支障のない位置に取り外し可能な格子状のネットを設けること。

(24)　手摺り(下段)には AED 収納ボックス、書類入れボックス及び S 字フック６個を乗降及び走行時において支障のない位置に取り付けること。

(25)　手摺り(上段)の高さ等については別途協議とする。

(26)　助手席シートは空気呼吸器内蔵シートとする。

(27)　後部座席背面部を改良し、空気呼吸器が容易かつ確実に脱着できるようクイックホルダーを３基取り付けること。また、座席背当ては上下スライド式とし、空気呼吸器の脱着等に支障のない高さとすること。

(28)　助手席及び後部座席後側の空気呼吸器取り付け付近に帽子掛け４個を取り付けること。

(29)　キャブ内の乗車人員の乗降及び走行時において、支障のない位置にネット状の網棚を設置すること。大きさ、位置等は別途協議とする。

(30)　キャブ内にON/OFFスイッチの付いたLED室内灯を設けること。

７　電装関係

（１）　バッテリー容量は 24V-100AH 以上とし、走行用及び特殊装備品の使用を考慮し、消費電力一覧に基づく必要な電気容量を確保すること。

（２）　バッテリー積載部は引出し式とし、ロックはワンタッチの解除方式とすること。

（３）　車内の乗降等に支障のない位置にバッテリー管理器を取り付け、充電器用の外部入力(AC100V) 用コンセントは、オイルパンヒーター用コンセントと共用とすること。詳細は別途指示する。

（４）　車室内にAC100V用コンセント（２個口接地付）を設置すること。取付場所は別途調整とする。なお、電源入力は外部入力用コンセントと同一とすること。詳細は別途指示する。

（５）　ドライブレコーダーの電源はACC以上で通電すること。

（６）　赤色警光灯及び無線機器等の特殊装品の電源関係は、ACC以上で通電すること。ただし、無線機のメモリー用電源についてはこの限りではない。

（７）　無線機の配線等については納車後に、デジタル無線機の取付工事を本市が実施するため、次のとおり行うこと。なお無線機の種類、アンテナ及び各ケーブルの線種は別途指示する。

ア　車　外

①　無線機用アンテナを新たに用意し、ルーフ上部の送受信の支障のない位置（デジタル用ダイバーシティー方式２本を 1.2m以上離して設置）に設けること。なお、貫通型の無線機基台を設ける場合は、その貫通部、その他の場合はアンテナケーブルの貫通部を室内から容易に点検できる構造とするとともに、貫通部から雨露の侵入がないようにすること。

②　車外無線通話装置（無線送受話機・ジャンクションボックス・スピーカー）を新たに用意し、取付位置を左右側面の適所に確保すること。なお、必要に応じて、専用の収納ボックスを用いて確保すること。また、送受話器用６芯ケーブルを無線機取付位置から配線すること。

③　車外無線機用スピーカー（定格入力５W以上、定格インピーダンス８Ω）を左右側面収納庫用に新たに用意し、取付位置を確保すること。なお、必要に応じて専用の収納ボックスを用いて確保すること。また、音声用ケーブルを無線機取付位置から配線すること。

④　各配線の端末は、線種を明記すること。

イ　車　内

①　無線機の仕様に合わせ、無線機取付位置を確保し、無線機取付ブラケット用の架台を設けること。また、取付位置は無線機本体及び分離制御器のどちらかを各席から容易に視認できるように、それぞれの取付スペースを確保することとし、詳細な取付位置については別途協議とする。なお、分離制御器用の専用ケーブルを新たに用意すること。

②　デジタル無線用アンテナケーブルを「各アンテナ取付位置から無線機取付位置まで」１本づつ配線すること。

③　アンテナケーブルは室内に露出しないよう内張り配線とし、各無線機取付位置まで配線すること。なお、内張り内でケーブルのばたつき音が生じる恐れがある場合は、フレキシブルチューブ配管などで必要な処理をすること。

④　無線送受話器を新たに設け、助手席付近及び後部座席付近の乗降車及び走行時において支障のない位置に取付スペースを確保すること。取付位置等は別途協議とする。

⑤　無線機用電源ケーブルは、デジタル無線機取付位置付近に端子台を設けて「バッテリーからメインスイッチを介してデジタル無線機取付位置まで」、「バッテリーから ACC を介してデジタル無線機取付位置まで」それぞれ配線すること。なお、バッテリーとの接続は 24V となるように接続すること。また、端子台から無線機までは、設置する無線機専用の電源ケーブルを用意すること。

⑥　無線用スピーカー(定格入力５W 以上、定格インピーダンス８Ω)を後部座席の乗車等に支障のない位置に埋め込み式で設置し、音声用ケーブルをデジタル無線機取付位置から配線すること。詳細は別途協議とする。

⑦　送受話器用ケーブル６芯を「デジタル無線機取付位置から助手席足元まで」、「助手席足元から後部送受話器付近まで」配線すること。

⑧　各ケーブル類は電圧の整合を図り、余長を持たせた長さとすること。(余長の長さについては本市担当者と協議すること)

⑨　各配線の端末は、線種を明記すること。

（８）　車両運用端末装置(AVM 装置)の配線等については、納車後に本市所有の AVM 装置の取付工事を本市が実施するため、アンテナ等を新たに用意し次のとおり行うこと。なお、詳細は別途指示する。

ア　指定する GPS アンテナをルーフ上に取り付け、耐熱防水(車両外装用シリコン・シーラント)処理を実施し、車両インターフェースユニットの取付位置まで配線をすること。

イ　指定する FOMA アンテナをルーフ上に取り付け、耐熱防水(車両外装用シリコン・シーラント)処理を実施し、モニタユニット付近まで配線すること。

ウ　各アンテナ線は、各アンテナ付属のケーブルにより AVM 装置関連機器位置まで配線し、端末には専用コネクタを装着すること。各アンテナ線の余長は本市から別途指示する。

エ　FOMA アンテナ及び GPS アンテナの取付位置は、無線用アンテナから概ね 50cm 以上離すこと。

オ　FOMA アンテナ及び GPS アンテナ設置位置からの車外配線は、車両進行方向と逆側に配線

し、車内の配線については、無線用同軸ケーブルと同じ経路で通線しないこと。

カ　液晶ディスプレイ取付架台を運転に支障がなく、かつ助手席からの操作が容易な位置に設けること。固定方法については別途協議する。(液晶ディスプレイ等重量は約５kg)

キ　AVM装置関連機器(車両インターフェースユニット、メンテナンスユニット(カバー含む)、モニタユニット、ネジ式ターミナル端子)の設置場所を確保するとともに、工具等を使用せず関連機器の工事・点検等が容易に行えるようにすること。車両インタフェースユニットの設置位置には、金属加工のカバーを設置すること。

ク　ネジ式ターミナル端子台には、上から順番にバッテリーからダイレクト配線の＋端子、アクセサリ(ACC)、イグニッション(IGN)、SPEED信号(車速信号)、BACK信号、アース(ボデー)で配線すること。各配線及び端子台には、線種が分かるようタグを取り付けること。

ケ　バッテリーの電源配線については、バッテリー付近に10AのブレードヒューズBOXを取り付け、ネジ式ターミナル端子台まで配線すること。

コ　AVM装置関連機器の設置位置に、資機材等を積載する恐れのある構造の場合は、関連機器を保護するための措置をすること。

サ　配線端末には線種を明記したタグを貼付すること。

８　塗装及び記入文字

（１）　本車両の塗装等

塗装色は、本市が別に提示する色見本もしくは、下記ア、イに記載する塗装色を基準にすること。

ア　本車両の外観塗装全般(ホイール部分及びシャッター部分を除く)を、マンセル値7.5R４/14の近似値または、同等色とし彩度は14以上ならば可とする。

イ　収納ボックス内部等の塗装可能な部分をマンセル値10GY７/４及び10GY８/４の近似色又は同等色のグリーンとすること。

ウ　各スイッチ部には、表示プレートを取り付けること。

（２）　本車両の記入文字

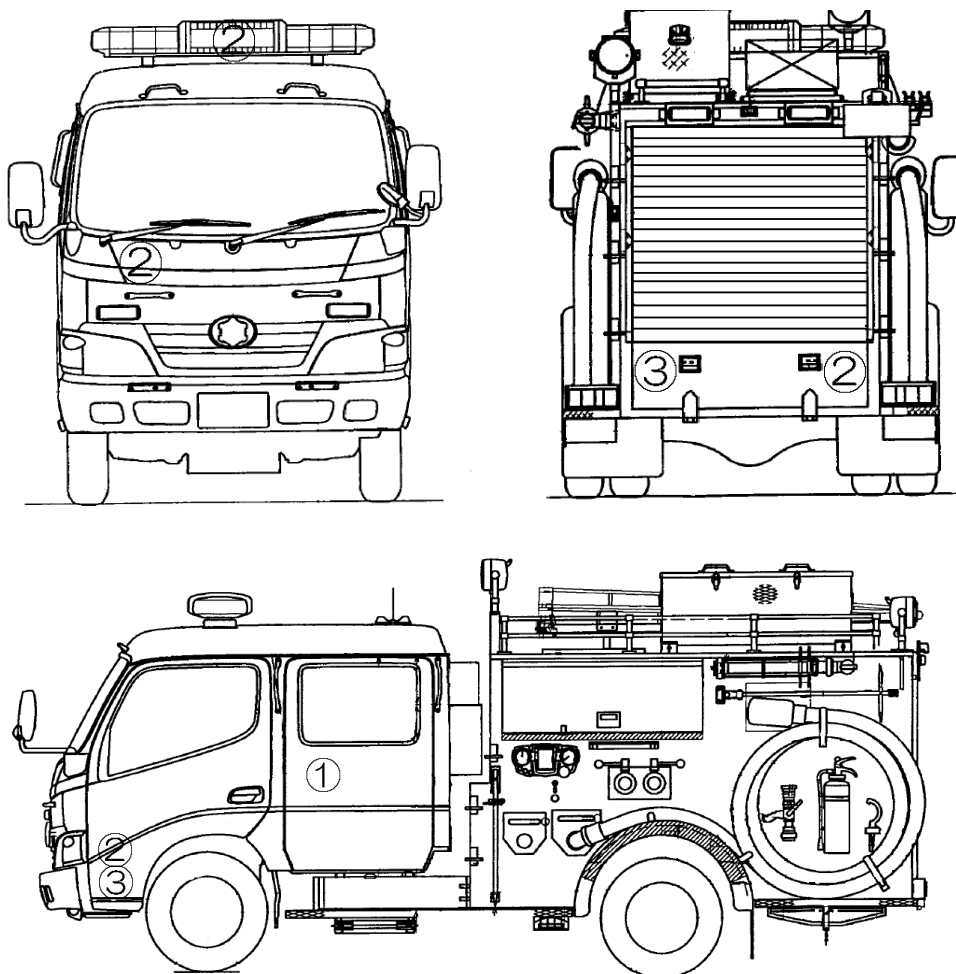
ア　文字は丸ゴシック体で全て左から右への横書きとする。

イ　記載している文字の位置・大きさを基準とし、バランスよく表示すること。なお、車両の形状に応じて協議のうえ調整を可能とする。詳細については別途指示とする。

ウ　添付している文字記入位置は、記入位置を参考にするものであり、車両及び資機材等を限定するものではない。

エ　記入文字等の変更または不要となった場合は、速やかに受注者へ通知する。

<table>
<tr><th>記入文字</th><th>記入位置</th><th>色別</th><th>１文字の大きさ
縦(㎜)×横(㎜)</th></tr>
<tr><td>横須賀市消防局</td><td>①</td><td rowspan="2">白</td><td>110×110</td></tr>
<tr><td rowspan="2">北</td><td>②</td><td>80×80</td></tr>
<tr><td>標識灯</td><td>黒</td><td>別途指示</td></tr>
<tr><td>車両番号
(別途指示)</td><td>③</td><td>白</td><td>80×60</td></tr>
<tr><td>補助金充当元
(別途指示)</td><td colspan="3">別途指示</td></tr>
<tr><td>横須賀消防
イラスト</td><td colspan="3">別途指示</td></tr>
</table>

【文字記入位置イメージ図】

第 12　補　　足

車両取付品等において同等以上の性能を有するものを備える場合は、本市と協議をし承認を得ること。

別表１

装備品

番号	品名	適用	数量
1	エンジン回転計	適応品	１式
2	エンジン油温計	適応品	１式
3	アワーメーター	適応品	１式
4	エアコン	適応品	１式
5	パワーステアリング	適応品	１式
6	パワーウィンドウ	適応品	１式
7	デュアルエアバック	適応品	１式
8	集中ドアロック	適応品	１式
9	フォグランプ	適応品	１式
10	電動格納ミラー	適応品	１式
11	電動キャブチルト	適応品（必要に応じ三連梯子積載時安全装置を設置すること）	１式
12	時計	適応品	１式
13	ラジオ	AM・FM	１式
14	サイドバイザー	適応品	１式
15	フロアマット	適応品	１式
16	泥除け	適応品	１式
17	停止表示板	適応品	１式
18	車輪止め	ゴム製（黄色）	２個
19	本車両用スペアタイヤ	ホイール付（塗装なし）	１式
20	本車両用タイヤチェーン	適応品	１式
21	本車両用ブースターケーブル	適応品	１式
22	本車両用鍵	標準装備分含め３本	１式

別表２

ぎ装及び取り付け品、取付装置

番号	品名	適用	数量
1	ステップまたは展開はしご	車両上部昇降用（両側面、後面左右）	１式
2	サイドステップ	分割式	１式
3	サイドステップ収納庫	チェーン付ステップ兼用扉（ロック機能付き）	１式
4	助手席シート	空気呼吸器埋め込み式	１式
5	ポンプ室上部収納庫	ダンパー式	１式
6	ポンプ室後部収納庫	シャッター式	１式
7	車両両側後部上側収納庫	扉ダンパー式	１式
8	天井部側面二段手摺り	両側面	１式
9	ポンプ室点検措置	天井部等	１式
10	作業灯（散光）	フラッシュボーイ EV-Q15（伸縮式、落下防止チェーン付、専用予備球１個付き）	１式
11	照明灯（集光）	フラッシュボーイ SP-Q15（伸縮式、落下防止チェーン付、専用予備球１個付き）	１式
12	庫内灯	LED タイプ	１式
13	はしご昇降装置	手動シーソー式	１式
14	空気呼吸器用ボンベ収納		１式
15	ビニールレザー加工	乗員席	１式
16	取り付け金具	吸管、消火栓開閉金具、吸管スパナ、管そう、ノズル受け、とび口、金てこ、剣先スコップ、車輪止め、消火器、ホースブリッジ、スタンドパイプ、泡消火薬剤、ホースカー（横須賀式、背負い式ホースカー）、鉄線カッター、特殊ノズル、分岐管	１式
17	テールランプ等保護枠	足掛け兼用	１式
18	車体損傷防止装置	必要箇所	１式
19	水ポンプ	Ａ－２級	１式
20	PTO		１式

21	吸水口	75mm ボールコック付（ストレーナー付）	１口
22	吸水口エルボ	スイベル式	２個
23	吸管	NewLF-18（75 mm×10m）	２本
24	放水口	65mm ボールコック付	４口
25	放水口媒介金具	65mm ネジメス×65 差込オス（材質アルミ）	２個
		AN-65MC	２個
26	中継口	65mm ボールコック付	
27	中継口用媒介金具	65mm ネジメス×65mm 差込メス （ストレーナー付）	２個
28	真空ポンプ	無給油式	１式
29	ポンプ操作装置盤	多目的液晶ディスプレイ型	１式
30	ポンプ手動操作装置	非常用	１式
31	水槽	900ℓ　以上 1,000ℓ　未満	１式
32	オーバーフローパイプ・補給口・排水口		１式
33	積水口・水量計（目盛り付き）	左右各１個	１式
34	消防章	台座付き	１式
35	補助ミラー	助手席側の車外	１式
36	旗立てパイプ	口径約 25 mm・手摺り兼用	１式
37	オイルパンヒーター	10ｍコード付、カットスイッチ付	１式
38	赤色警光灯	NF-ML-VA2M-HA2-LF	１式
39	赤色点滅灯	車両前後部及び側面上部手摺り	１式
40	周囲灯	LI-21	１式
41	路肩灯		１式
42	標識灯	赤色警光灯一体型（スモールランプと連動）	１式
43	ルームミラー型車載用 後方確認装置		１式

44	ドライブレコーダー	㈱ユピテル製 BU-DRB300 （納車時最新式）	１式
45	GPS ナビゲーションシステム（ポータブルタイプ）	パナソニック CN-GP745VD （納車時最新式、同等品可）	１式
46	マップランプ（LED タイプ）	助手席及び後部座席（左右）、照射角度調整・ON/OFF スイッチ付	１式
47	後退警報器（ブザー音）	解除スイッチ付き	１式
48	電子サイレンアンプ	TSK-5102V （通信機能・専用マイク付き）	１式
49	電子サイレンアンプ用マイク	後部座席用増設	１式
50	集中操作スイッチ	SBW-100	１式
51	モーターサイレンスイッチ	運転席付近及び集中操作スイッチ組込み	１式
52	携帯無線等収納ボックス	前席中央部	１式
53	手摺り	後部座席前面、上下２段、格子状ネット付	１式
54	空気呼吸器ホルダー		３基
55	帽子掛け		４個
56	網棚	ネット状	１式
57	室内灯（LED タイプ）	ON/OFF スイッチ付	１式
58	バッテリー管理器	ズボラ充電器（コンセントマグネット式、コード 10m付：オイルパンヒーター共用）	１式
59	AC100V コンセント	２個口接地付	１式
60	バッテリー引き出し式	ワンタッチロック	１式
61	無線アンテナ・配線取り付け	本市指定(必要品を用意も含む)	１式
62	車両動態位置管理装置事前工事		１式
63	塗装・記入文字		１式

別表３

積載品・付属品

番号	品名	適用	数量
1	吸管ストレーナー	ストカゴ　16SKGF3P （吸管ロープ 15ｍ、65㎜ 差込オス媒介付）	２式
2	吸管ちりよけ籠		
3	吸管ロープ		
4	吸管枕木	75㎜ 用・ゴム製・黄色	２個
5	吸管スパナ		２個
6	消火栓金具	75㎜ ネジメス×65㎜ 差込メス	２個
7	消火栓開閉金具	106 型	１本
8	防火水槽開閉金具	もちあげ君 ML-001（2 本組）	１式
9	管そう	PP-65AEXS（643㎜）	１本
		PP-50AEXS（500㎜）	１本
10	ノズル	サイズ 65㎜、口径 20㎜、材質アルミ	１個
		サイズ 65㎜、口径 23㎜、材質アルミ	１個
		NMⅡ（口径 20㎜）	１個
		NMⅡ（口径 23㎜）	１個
11	特殊ノズル	TS-0501-S（40㎜ 差込メス）（0.5MPa）	１本
		ゼロトルク（アクロン社 40㎜ 差込メス）	１本
12	とび口	約 1,800 ㎜	２本
13	金てこ	約 1,100 ㎜	１本
14	剣先スコップ	約 1,000 ㎜	１本
15	斧	トップマンとび	３個
16	ホース延長用資機材	加納式ホースカー（アルミ製 TS130 一式専用 収納箱内４本入りキャリーバック４個付 ブレーキ付）	１基

16	ホース延長用資機材	背負い式ホースカー （アルミ製 MAC-003・専用カバー付）	２基
		ホースキャリーバック（W50－65）	６個
		ホースキャリーバック （ターポリン製２本入り）	２個
17	単はしご	チタン製かぎ付（関東梯子 KHFL-CT31 最大伸梯長さ 3.1m）	１基
18	三連はしご	チタン製（関東梯子 KHFL-CT74 最大伸梯 7.4m、収納長さ 3.1m）	１基
		クレーン救出用具（関東梯子 TRC-02）	１式
		横桟保護カバー(関東梯子 TRS-50L)	１式
		搬送用キャスター（関東梯子 RFC-075）	１式
19	ポンプ工具		１式
20	ホース	65mm×20ｍ（キンパイ SP-H-A AC 町野 N アトラス付、1.6MPa 対応、ホース保護具の色及び記入文字については別途指示）	30 本
		65mm×10ｍ（1.6MPa 対応、ホース保護具の色及び記入文字については別途指示）	２本
21	分岐管	メス 65mm・オス 50 mm×２口対応型、開閉コック単独レバー式	１個
22	ストップバルブ	DA 型ストップバルブ（サイズ 50）	１個
		DA 型ストップバルブ（サイズ 65）	１個
23	ホース保護具	ホースバンデージ（65 mm用）	５枚
24	ホースブリッジ	スーパーL 又はコンパクトブリッジ CB450	２個
25	スタンドパイプ	PS-65S-S（長さ 715mm）	１本
26	積水口送水用圧力計	65 mm差込オス×65 mm差込メス（アルミ製） 1.6ＭＰａまで表示	２個
27	媒介金具	40mm 差込オス×65mm 差込メス（アルミ製）	２個
		40mm 差込オス×50mm 差込メス（アルミ製）	２個
		65mm 差込オス×50mm 差込メス（アルミ製）	２個
		50mm 差込オス×65mm 差込メス（アルミ製）	２個
		スイベル式媒介（65mm 差込メス×65・50 mm MC 差込オス・アルミ製）	２個

28	泡消火薬剤	ミラクルフォームα+	５個
29	ポンププロポーショナー	TS-KB 型（横須賀仕様） 混合比 0.25%以下に対応	１式
30	空気呼吸器	AM30[横須賀モデル]（CS）（携帯警報機スーパーパスⅡ、収納ケース、カバーグラス、面体保護カバー、面体収納袋付き）	４基
31	空気呼吸器ボンベ	730CⅡZ（F-265 刻印、ボンベ用保護上下カバー付き）	８本
32	隊員用ヘッドライト	ペツル　ピクサ３	５個
33	窓ガラス破壊器具	ライフハンマー	１本
34	ロープバッグ	PETZL バケット（S41Y）25L	１袋
		PETZL バケット（S41Y）35L	１袋
35	防刀ベスト		５着
36	防爆ライト	ファイヤーバルカン LED（071FX）	２個
		ファイヤーバルカン ライトボックス HID	１個
37	電気メガホン	TS-523R（ウエストホルダー付き）	１個
38	誘導棒	LED 式	２本
39	照明付発電機	WTA-04 （LED 式、ON/OFF スイッチ付）	１基
40	可搬式投光器	ヤマハ E028	
41	チェーンソー	CS42RS/40RV95	１基
42	エンジンカッター	ハスクバーナ製 K760 Cut-n-Break9　専用ダイヤモンドブレード付、（予備替刃１組付）	１基
43	ガス検知器	CX-2009（イソブタン対応）（横須賀仕様）	１基
44	レーザー距離計	ライカ　DISTO-X310	１個
45	電気自動車用 検電チェッカー	長谷川電機工業㈱製　HEV-750D	１個
46	プーリー	三つ打ちロープ用（PL-75W）	５個
47	カラビナ（ステンレス製）	大５個、小 10 個	１式
48	トランシーバー	STANDARD（FTH-107）	５個

49	430縛帯		１個
50	レスキューベスト	横須賀仕様	６着
51	万能オノ	トップマン	３本
52	ホース保護具	ホースバンデージ（65㎜用）	５枚
53	スローバック	CMC：291775 パッククロス	１個
54	鉄線カッター	MCC：ZBC-600	１個
		TVK ピラニアはさみ	２個
55	補修用塗料	仕様塗装色	１式
56	緊急消防援助隊車両用マグネットシート	「緊急消防援助隊　神奈川県隊」×３枚（白色）（大きさ別途指示）	１式
57	消火器	自動車用ABC粉末消火器（薬剤量６ｋｇ以上）	１本
58	携帯電話用 シガータイプ充電器	FOMA用（12/24V兼用）	１式